講師 **藤井（ふじい） 絢子（あやこ）** さん

（NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表）

≪プロフィール≫
1946 年、神奈川県生まれ。
1971 年より滋賀県に在住。夫と 4 女の家族と暮らす日常から、食の安全性を求めて地域生協づくりに関わるとともに、琵琶湖で環境専門の生協を立ち上げた。
”水、緑、土、大気、エネルギー”の 5 部門にわたるエコロジー商品の開発・普及、合併浄化槽の普及、太陽熱利用などを手がける。環境にやさしい暮らし提案を実践。
地域に向けては、食とエネルギーの地域自立・循環型社会形成をテーマとする「菜の花プロジェクト」を展開。全国菜の花サミット、全国菜の花学会・楽会等を通し国・内外（国内 160 ヶ所、モンゴル、韓国、中国、チェルノブイリ、ケニアなど）と交流している。

著書：藤井絢子・菜の花プロジェクトネットワーク編著「菜の花エコ革命」「菜の花エコ事典」（創森社）
河田 昌東・藤井 絢子編著：チェルノブイリの菜の花畑から
～放射能汚染下の地域復興～（創森社）他

持続可能な地域社会をつくる
第 31 回　かんくま定例学習会　～エネルギー編～

「菜の花プロジェクト」から学ぶ、地域循環型のエネルギー

エネルギーについての連続学習会。
第５回目のテーマは、「菜の花」

滋賀県の琵琶湖の保全活動から始まった菜の花プロジェクトは、転作田で栽培した菜の花からナタネ油をつくり、油かすは肥料や飼料として使用、廃食油は回収し、せっけんや軽油代替燃料（ＢＤＦ）にリサイクルされ、地域で利活用するという「地域自立の資源循環サイクル」が確立されています。
震災後、エネルギーと食の自立は、ますます重要になっています。
菜の花プロジェクトの取組みを通して、一緒に学びませんか？

平成 23 年
9 月 28 日（水）

※参加費　無料

午後 7:00 ～ 9:00
午後 6:30 開場

熊本市市民活動支援センター あいぽーと　（熊本市大江 5-1-1）

＊＊＊　参加者人数把握のため、事前のお申し込みにご協力ください　＊＊＊

主　催　NPO法人環境ネットワークくまもと
協　力　環境省九州環境パートナーシップオフィス（EPO九州）
申込・問合せ　NPO法人環境ネットワークくまもと　熊本市大江本町 6-24
TEL/FAX096-362-3776　home@kankuma.jp　http://www.kankuma.jp/